

業績のハイライト (個別情報)

平成19年3月期決算の概要について

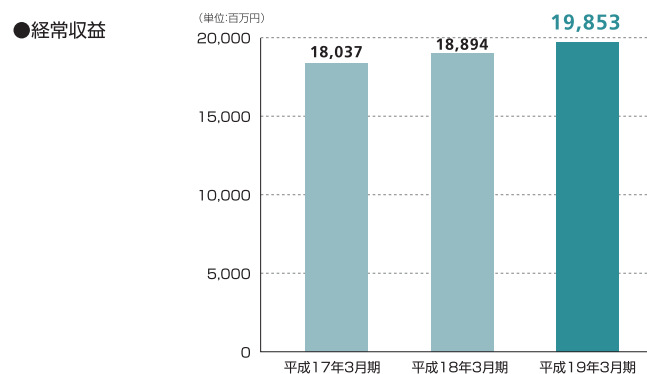
当行では、中期経営計画「好品質計画」に基づき、業容の拡大と収益力の強化に努めてまいりました。

主な経営指標等の推移は次のとおりです。

		平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
経常収益	百万円	18,037	18,894	19,853
経常利益	百万円	1,885	2,439	1,918
当期純利益	百万円	1,286	1,444	1,158
業務純益	百万円	3,692	3,330	2,697
コア業務純益	百万円	3,481	3,343	2,635
預金・譲渡性預金残高	億円	7,173	7,408	7,404
貸出金残高	億円	5,006	5,043	4,931
有価証券残高	億円	1,816	1,962	2,062
単体自己資本比率(国内基準)	%	8.33	8.69	9.90

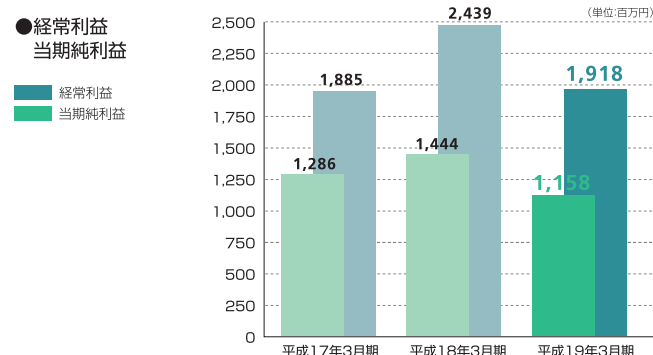
経常収益について

経常収益は、198億53百万円(前年同期比5.0%増)となりました。経常収益の増加は、有価証券の運用収益の増加や売却益の計上などによるものです。



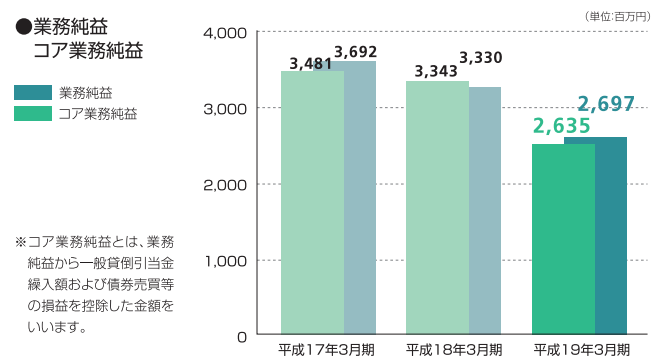
経常利益・当期純利益について

経常利益は、19億18百万円(前年同期比21.3%減)、当期純利益は11億58百万円(前年同期比19.7%減)となりました。経常利益と当期純利益は、貸倒償却引当費用が減少したものの、コア業務純益が減少したことなどにより減益となりました。



業務純益・コア業務純益について

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、26億35百万円(前年同期比21.1%減)となりました。コア業務純益は、日本銀行のゼロ金利政策解除にともない預金利息が増加したことやATM手数料などの役務取引等利益が減少したことなどから減益となりました。

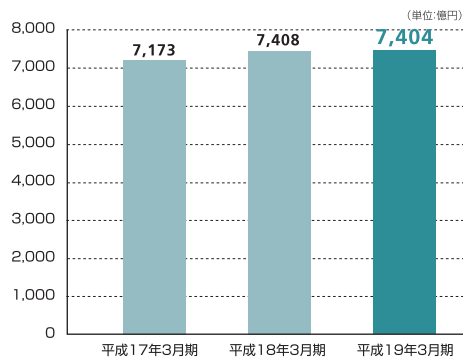


業績のハイライト(個別情報)

預金・譲渡性預金残高について

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金は堅調に推移したものの、法人預金及び公金が減少したことなどから7,404億79百万円(前年同月比0.0%減)となりました。

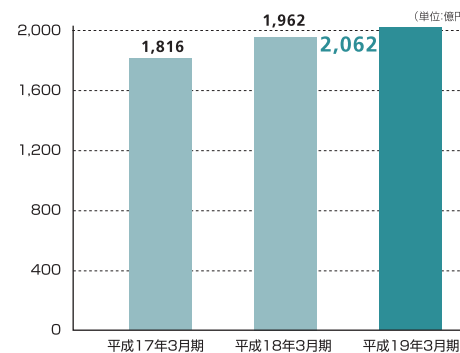
●預金・
譲渡性預金残高



有価証券残高について

有価証券の残高は、市場動向等を勘案し、リスクの分散を図りながら、資金の効率的かつ安定した運用に傾注した結果、2,062億65百万円(前年同月比5.1%増)となりました。

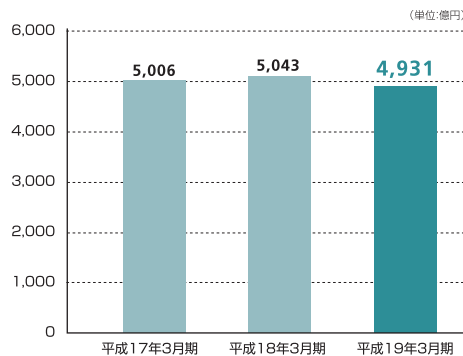
●有価証券残高



貸出金残高について

貸出金残高は、地方公共団体向け貸出が堅調に推移したものの、中小企業向け貸出や住宅ローンが減少したことなどから、4,931億51百万円(前年同月比2.2%減)となりました。

●貸出金残高



単体自己資本比率について

単体自己資本比率(国内基準)は前年同期比1.21ポイント上昇し、9.90%となりました。

●単体自己資本比率

